

# あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2007.4.8 No.460 (毎月2回発行)



## 「瀬音の湯」など税金の使い方めぐって論戦激しく

3月定例会

山根議員からのレポート

### 市民税増税で、約11億6千万円負担増

市民税では、住民税で8億9千万円、定率減税の廃止で2億7千万円、合計で約11億6千万円増税となります。今年の6月には更に住民税が大幅に増えます。7月には国民健康保険税も大幅に引き上げになり、市民の暮らしはますます大変です。

### 土地開発公社の補助に3億3千万円つきこむ

合併前に工場誘致のため市が債務保証をして購入した土地開発公社の土地は売れず、利払いだけが続けています。この債務負担に市が毎年1億円の補助金を出していますが、この2年間で3億3千万円も補助金として出しました。市民の暮らしが大変なとき、開発優先の失政がいかに大きいかわかります。

### 「税金の使い方」をくらし福祉優先に、私たちの願い

今年度予算では、わずかではありませんが、屋敷小と秋多中の2校に耐震補強工事の設計委託料予算がつきました。他に学校消耗品費や施設整備、住宅の耐震改修工事の助成金、増戸分室の一部を児童館に使用することなど、市民増を図るなど、これまで日本共産党議員団がくり返し、市民の願いとして要望したことが一部予算に反映されました。日本共産党市議団が行った市民アンケートにも、税金の使い方を求め、皆さんの意見や要望が寄せられています。

これら切実で深刻な市民のみなさんの声を市政に生かすため、3月議会でも正々堂々と論戦をしてみたいです。今後も税金の使い方を、市民の暮らし、福祉の充実に最優先して使うよう市民のみなさんと力を合わせてがんばってまいります。

### 温泉事業には今年新たに1600万円、さらに温泉ある限り税金が……

今年度、温泉事業に関する委託料など、新たに1600万円の前算として、加茂原休憩施設設計委託料、乙津散策路整備工事、青木平公衆トイレ設計

### 「るのバス」の増車はまたも見送り

6年がたちましたがいまだに一台のバスで運行しています。日本共産党市議団は、バスをあと2台増やし、全体を3コースにし、バスが走っていない地域への運行や、逆回り、土・日の運行など、改善するよう強く求めました。市長は当分一台のままでいくと回答しました。

温泉には多額のお金をかける一方で、市民の足となるバスも増やさない、まさに「税金の使い方」が間違っているといえます。

は市の税金で賄い、温泉がある限り、今後も限りなく市税がつき込まれていくことが明らかになりました。



### 3月議会傍聴記

「事務監査請求」を提出して 温泉問題を考える会・竹之内正雄

温泉施設の建設に關しての事務監査請求は、5855名の市民の署名が寄せられました。3月議会で、議員には、どのような見方があるのか注目し、傍聴しました。

まず驚いたことに、自らが監査委員である議員が、事務監査請求は、1300名でよいのに、5855名も集めたこと、あたかも無駄なことというような立場をわきまえない発言がありました。これは、市民の温泉建設に対する怒りに近い思いを理解していない、また一人一人の市民の持つ権利を

市民の意見を厳正に監査し、判断すべき監査委員としての資質が問われています。これは、市民の温泉建設に対する怒りに近い思いを理解していない、また一人一人の市民の持つ権利を



1才半頃から、ぐんぐんやんちゃになってきた我が家のちび。私は上の子2人の時には気をつけて体罰は控えましたが、もともと雑な性格と3人目の気のゆるみとで、叱る度におでこをべちちゃんとやっていました。そのうちちびが上の子を叩くように。これはマズイ!!と、まず私が叩くのをやめ、叩こうとするちびの手をつかまえ、「叩かないの」と教え…。一ヵ月たらずにほとんど叩かなくなりました。

いま1才10ヶ月。今度はたたかいごっこが流行中。何の前置きもなくパンチをくりだす、おもちゃで殴りかかる。たたかいごっこの流儀を覚えるまで周りは油断できず、ちびは叱られまくりの日々です。(07.3.11) たばた あずみ 連絡先は☎550-6674

### 野良望

三月一日の明治公園での日本共産党の大演説会。志位委員長の全身全霊を傾倒しての気迫ある演説に感動した。特に野党外交の韓国、ベトナムでの話に涙が出た。韓国では友好の最大の土台となつたのは、日本共産党が侵略戦争に反対し朝鮮独立のために連帯してたかつた歴史を持つ党であるということ。日本共産党と韓国の交流の太い道が開かれたこと。ベトナムでは、アメリカの侵略と困難な闘いをしていく時の日本共産党の物心両面の支援を忘れずに、党と政府、学生などの心温まる熱烈な歓迎の連続だったこと。志位さんが言いました。「今日のわが党の活動が、党創立以来八十余年の先輩達の苦闘にみちた歴史によってささえられていることの再発見だった」▼私自身、大企業のかたが労働運動、公然党員としての活動、職場での差別に屈せず、節を曲げずに活動できたのも、日本共産党の輝かしい歴史にあることの再確認をした▼帰りのバスの交流で、涙が出たのは私だけでなかつたことを知りまた感激。(松)



ご存じですか? <http://www.jcp-akiruno.com/> と <http://www.jcp-akiruno.com/tozawa/>  
**新しきを訪ねて、新しい情報を得る!**

**いまの注目** 日本共産党あきる野市議団と戸沢ひろゆきのホームページ

一度この二つのホームページを訪ねてみてください。あきる野市のホームページより議会の内容など情報が早い。それに日々の議員団の活動が手にとるようにわかる。

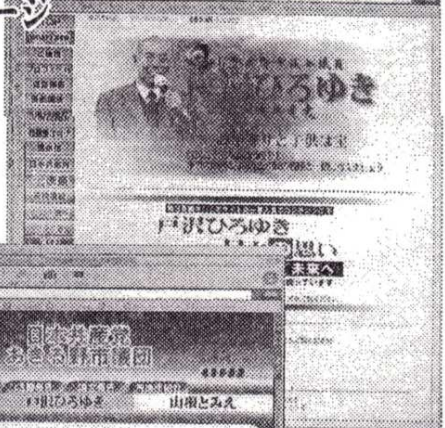
HPを開設して沢山の感動があります。スケートボードする若者たちが会場を求めていて、ルビアの前のバスケットゴールの網が破れているとメールが来たこと。掲示板に市政に対する意見が寄せられその解決がされると感謝の言葉が届くこと

2002年、市議団と戸沢のホームページを立ち上げました。  
 6年が経過、市議団は4万6000件、戸沢の方は6万5700件のアクセスがされています。市議団としてまた公職にある者として皆さんに情報開示することを「義務」だと決意したことからは始まったものです。年間100000件のお客様が訪ねてくれ感謝しています。

HPを開設して沢山の感動があります。スケートボードする若者たちが会場を求めていて、ルビアの前のバスケットゴールの網が破れているとメールが来たこと。掲示板に市政に対する意見が寄せられその解決がされると感謝の言葉が届くこと

2002年、市議団と戸沢のホームページを立ち上げました。などや私の場合、毎日更新している写真添付の「日記」を掲載していますが、時には同感だと激励してくれる「お客様」やそれは違うと批判してくれる「お客様」が伝えてくれることです。  
 公園のベンチ、トイレの改修、道路の補修やカーブミラーの新設などの要望箇所をデジタルで撮り、解決後の写真を見てもらっています。  
 中には仕事の関係で外国に引越した若い夫婦から「実家の近くが変化している様子がよく分かる」と伝えてくれた方もいます。  
 これからも地方議員の任務の一つとして更新に努めていきたいと思っています。ぜひ訪問を歓迎します。

戸沢議員団長・談



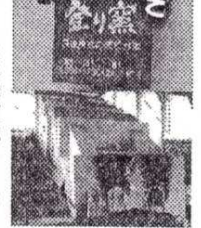
▲戸沢ホームページ



▲党議員団のホームページ

**戸沢ひろゆき 日々の思い**

この記事は、4月の1日の真夜中に書いている。午前0時をまわってすぐに「戸沢 日々の思い」をクリックすると、もう2日の日記が更新されていた。  
 内容は、温浴施設開業に合わせて、運営が統合された「ふるさと工房」の登り窯に15年ぶりに火が入られることを紹介していた。  
 首都圏最大の登り窯といわれるだけに、火力の強い「赤松」の薪を三日間焼き続けなければ火が全体にまわらないらしい。この14年間、窯に火を入れなくても年間2千数百万円の「赤松」ならぬ「赤字」を計上してきた「ふるさと工房」。  
 年間3千2百万円の利益を全体では上げると言い張る市長さん。「赤字」が全体を染めるのにそんなに日にちはかからない気がしますが、どんなもんでしょう。



さつきを訪ねてみましょう!

紹介していた。

**後援会便り**

《東地区後援会主催》  
**伊豆の帰りバスの旅**  
 (浄蓮の滝、天城峠……)  
 日時 4月25日(水)  
 7時30分市役所前出発

費用=4,000円  
 申込は=清水、片野坂、一戸ほか役員まで。

山柳(二題)

もろ沢山 知事の醫沢 福社切り  
 願きおろし ビラまき寮心 春の風

西川 昇

絵手紙/金井真奈美さん・瀬戸岡在住



**歴史探訪**

第40回

**地名考・阿伎留 ①**

北は草花 丘陵の裾野 から南は秋川流域、西は旧秋川市 西端周辺まで広い地域一帯が、阿伎留台と呼ばれてきました。この語源はどこから来たのでしょうか。阿伎留・秋留・アキル、語感からするとアイヌ語のような気がするのですが、違うようです。アイヌ語の「アキ」は「葦・蒲が茂る場所」としていて、これらに該当する地域がなく、アイヌ語説は稀薄です。  
 あきる野市は国内でも古村が多いとされており、特に小川郷(小河郷)のように平安初期から地名として記されているもの、又、二宮のように大國魂神社に関連して二の次の神社からきた地名、或いは地形が地名となったものなど成り立ちが様々であり、由来を断定するのはなかなか困難です。更には五日市に阿伎留神社があり、この神社名もあきる野の地名に密接な関係があるかもしれません。  
 諸説の中で代表的なのが、市内を流れる川の名からきたものであり、阿伎留川が秋川となつて現在のあきる野の地名に伝えられたとされています。古書に「阿伎留川を略して秋留川と呼び、更に略して秋川と呼ぶ」とありますので、有力な一説としてよいと思います。(続く)

草花 木崎秀治

**俳句**

ゆてけも顔黄色なり落の莖 (聖代)  
 春の宵宮送料理に銀の箸 (静子)  
 タレポボを高くかざして子等走り (勝代)  
 春先咲く根元の犬と眼があいぬ (志浩)

満開の桜ついでむ鳥百羽 (ルリ子)  
 犬死して静まる庭の初桜 (来里)  
 子供等の遊び疲れて花吹雪 (やすこ)  
 春の星のせ電線にある調べ (かほる)  
 花冷えや死者に抱かせる資本論 (香浩)



法林寺(小川)南の秋川